

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ホームの食事は利用者が出来ることに参加し、決して上げ膳下げ膳介護ではないが、職員と共に食事を摂ることでさらに家庭的な雰囲気作りができると思う。しかし職員と一緒に食事を摂ることを好まず、スタッフルームでゆっくり食べたいという意向が多いので実現しない。	職員が利用者と一緒に食事を摂ることで、話も弾み、家庭的で和やかな食事風景が生まれること。	ホーム会議で提案し、職員一人一人の意見を聴き、金銭的なことも含めての合意をとる。また、朝食、昼食、夕食すべてに職員が同席するか、昼食から実践するか、会議で検討する。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 現状は医療ニーズが高くなった時には、入院されるか看護師配置の特養や有料に転居されるケースがある。	重度化され医療ニーズが高まった時には早い段階での医療対応が出来、終末期の方は本人や家族が望まれば、入院や転居だけの選択肢ではなく、ホームで馴染みのスタッフに囲まれて最期を迎えることが出来る。	6月1日よりご家族の同意のもと、医療連携体制加算を申請し、毎週ホームに訪問看護が入ることになった。また現在終末期の方をホームでお看取りしている最中であり、看取りの指針も出している。今後さらに看取りの事例を重ねて、職員のスキルアップに繋げたい。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月